

製品名: CHRNA7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81899**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	56.4kDa

抗原情報

遺伝子名	CHRNA7
別名	NACHRA7; CHRNA7-2
遺伝子 ID	1139.0
SwissProt ID	P36544
免疫原	大腸菌で発現したヒト CHRNA7 (AA: 追加 52-259) の精製された組み換え断片。

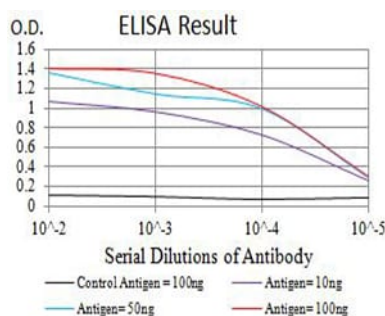
背景

ニコチン性アセチルコリン受容体 (nAChR) は、シナプスにおける高速シグナル伝達を媒介するリガンド依存性イオンチャネルのスーパーファミリーに属する。nAChR は、相同サブユニットからなるヘテロ五量体であると考えられている。各サブユニットの想定

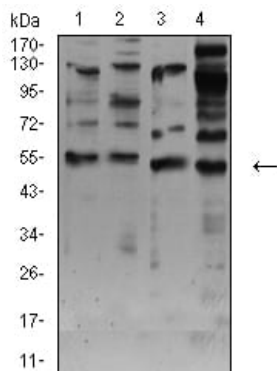
構造は、保存された N 末端細胞外ドメイン、それに続く 3 つの保存された膜貫通ドメイン、可変細胞質ループ、4 つ目の保存された膜貫通ドメイン、そして短い C 末端細胞外領域から構成される。この遺伝子によってコードされるタンパク質はホモオリゴマーチャネルを形成し、カルシウムイオンに対して顕著な透過性を示し、 α -ブンガロトキシンによって阻害され、かつ α -ブンガロトキシンに対して高い感受性を示す脳ニコチン性受容体の主要成分である。この受容体はアセチルコリンと結合すると、広範な構造変化を起こし、それがすべてのサブユニットに影響を与え、細胞膜を横切るイオン伝導チャネルの開口につながる。この遺伝子は、若年性ミオクロニーてんかんの主要な感受性遺伝子座として同定されている領域、および統合失調症の遺伝的伝達に関与する染色体部位に位置しています。この領域における進化的に最近の部分重複により、この遺伝子と新規 FAM7A 遺伝子の配列を含むハイブリッドが形成されました。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。

研究分野

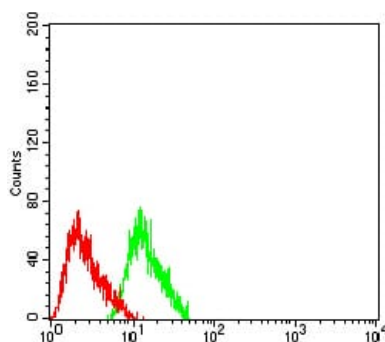
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



C6 (1) の膜タンパク質溶解物、SK-N-SH (2) の膜タンパク質溶解物、C6 (3) 、および HepG2 (4) 細胞溶解物に対する CHRNA7 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



CHRNA7 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した SH-SY5Y 細胞のフローサイトメトリー分析。

